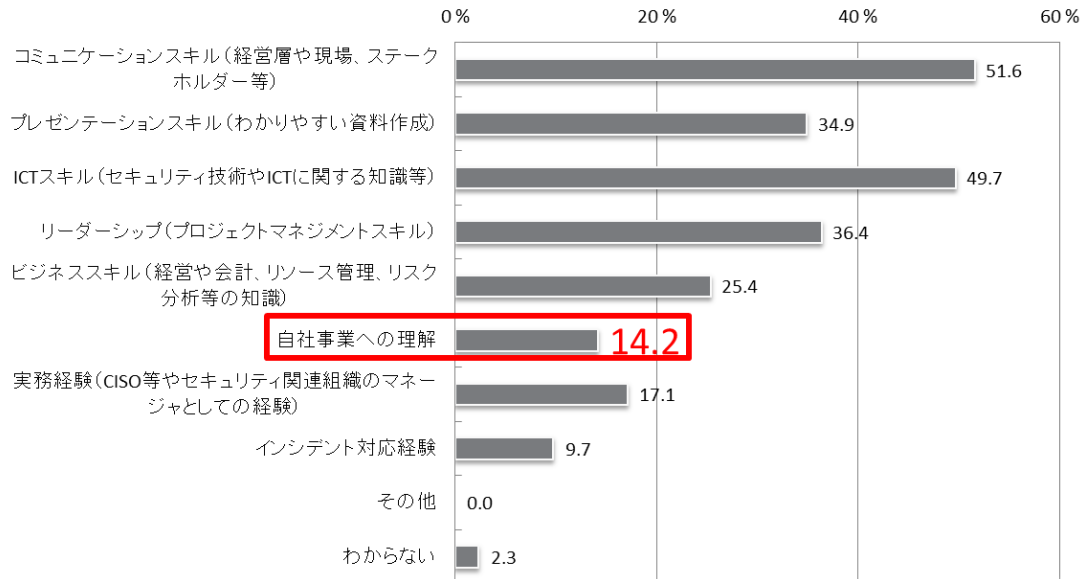
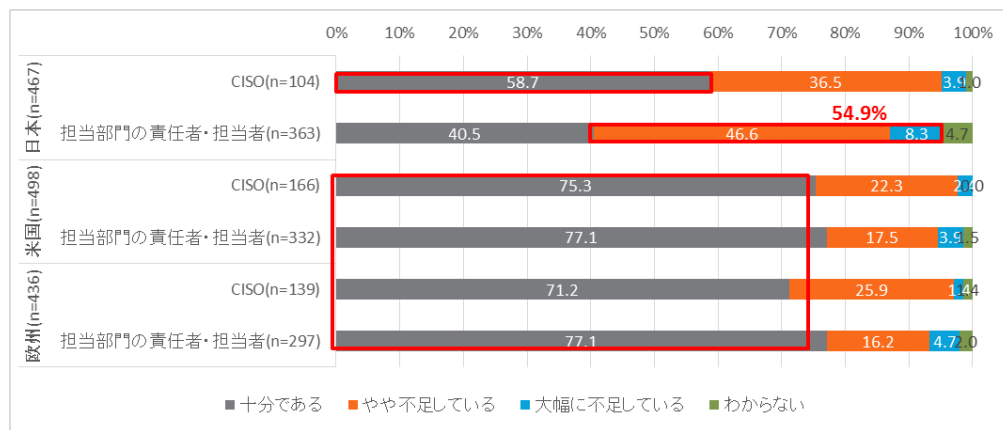


1. CISO に求められるスキルはセキュリティ偏重。橋渡し人材の前提となる経営戦略や自社事業への深い理解等の重要性は、企業では認知されていない。(調査報告書 P38)



<CISO に求められるスキル・経験>

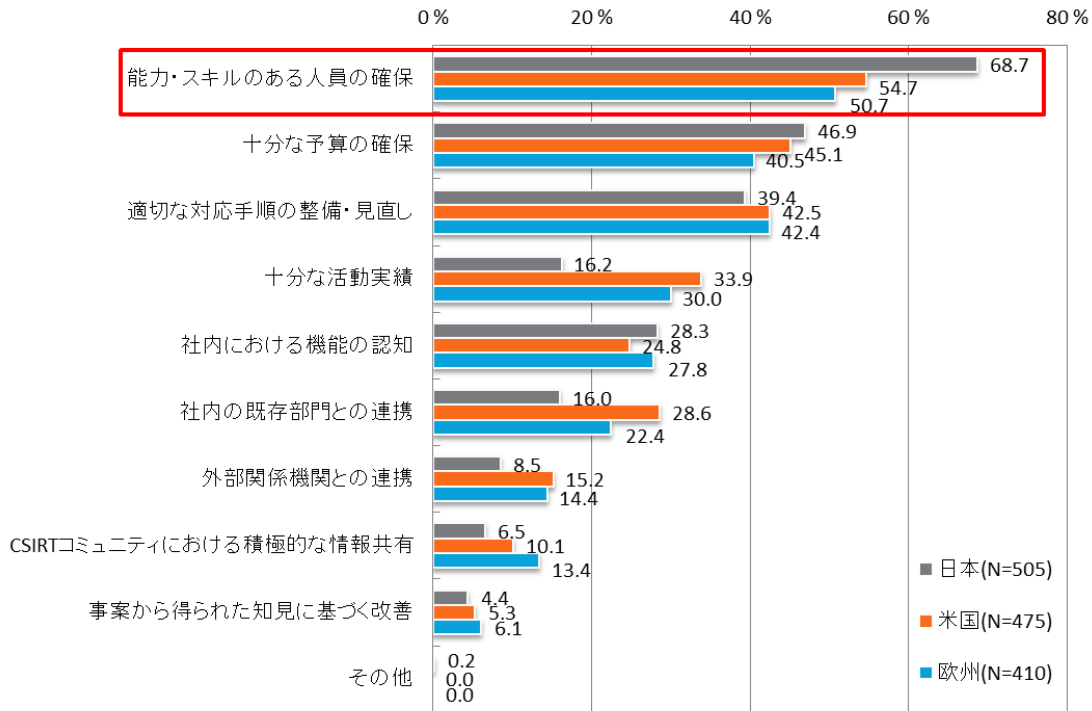
2. 日本では CISO の半数以上(58.7%)が「セキュリティ要員の人数は十分」と回答、一方不足していると考える現場担当者は半数以上 (54.9%) で、双方の認識のズレが鮮明となった。なお、欧米では CISO と現場とで認識のズレはない。(調査報告書 P44)



<情報セキュリティ業務担当者の量的充足度>

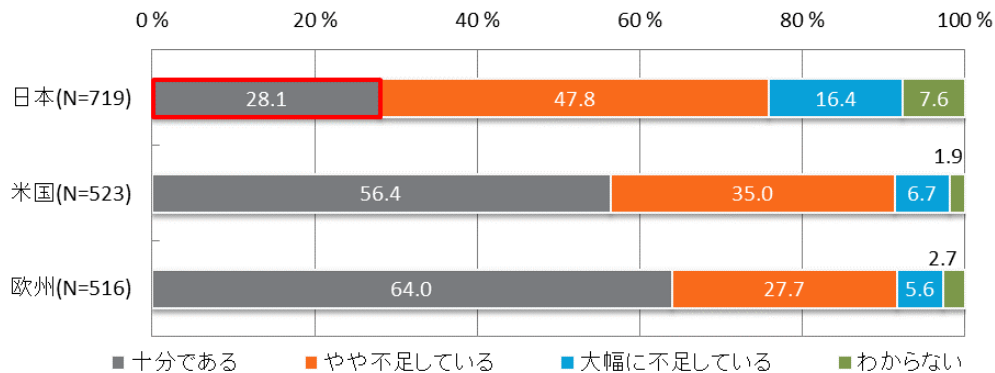
3. CSIRT を設置したものの、期待したレベルを満たすと自信を持ってない日本

A) 日本では、CSIRT の有効性を左右する要素として、“能力・スキルのある人員の確保” を挙げる割合が最多。欧米より 14 ポイント多い（調査報告書 P51）



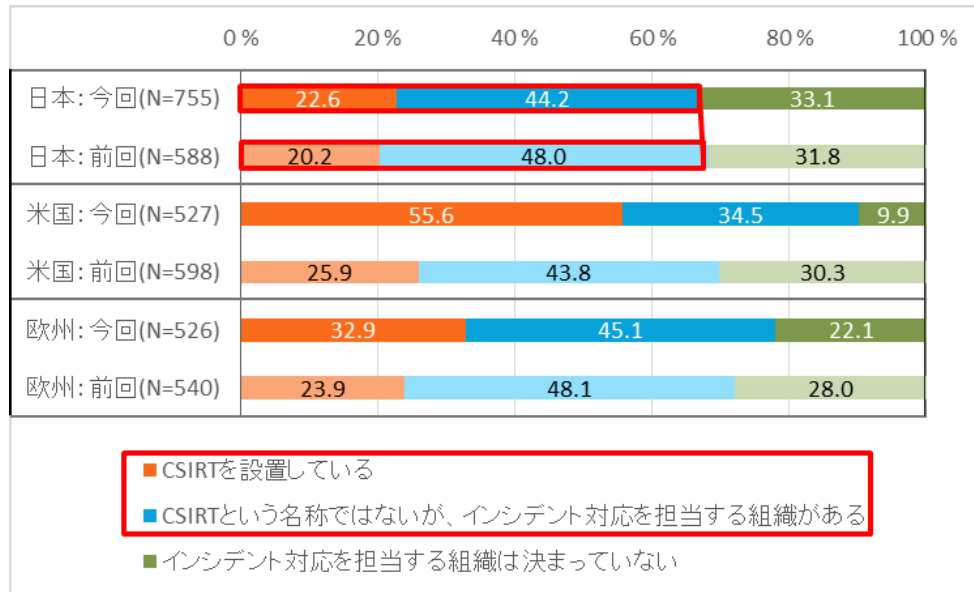
<CSIRT の有効性を左右する要素>

B) 情報セキュリティ人材のスキル面等の質的充足度は、欧米の過半数が「十分である」と回答しているのに対し、日本は前回調査同様 28.1%と低く、米国 56.4%や欧州 64.0%の半分以下（調査報告書 P45）



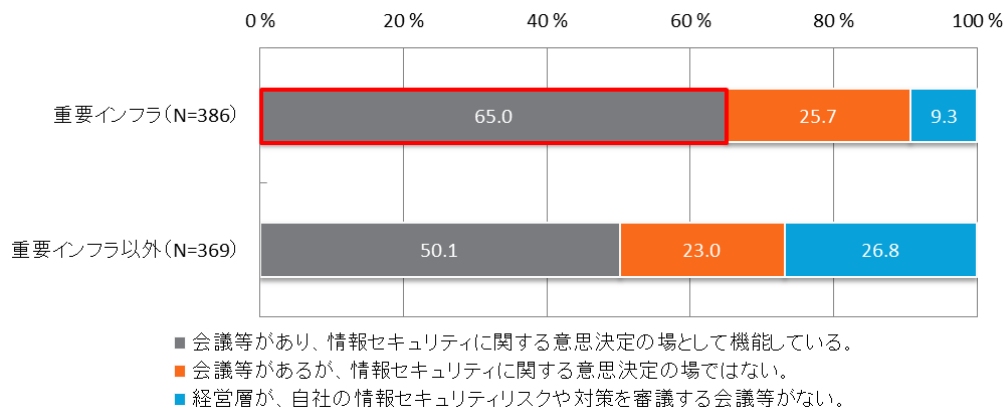
<情報セキュリティ業務担当者の質的充足度>

4. CSIRT 設置状況は、日本では大きな変化はない（調査報告書 P49）



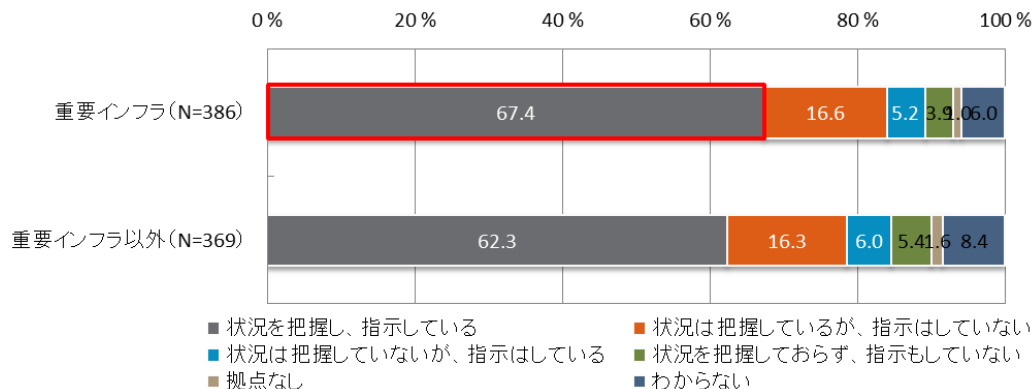
<CSIRT 設置状況>

5. 日本の重要インフラ企業で、経営層が情報セキュリティについて審議し意思決定する会議の設置は6割程度（調査報告書 P53）



<情報セキュリティに関し経営層が関与する会議の設置状況>

6. 日本の重要インフラ企業で、国内拠点の情報セキュリティ対策状況を把握・指示している企業は7割弱（調査報告書 P53）



<国内外拠点の情報セキュリティ対策状況の把握・指示>